

父の背中を見て育った兄弟。



火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

熊本(肥後)藩主細川氏が参勤交代に利用した豊後街道。その途上で、肥後と豊後の国境に位置し、熊本城から出発して二日目の宿となるのが坂梨宿場でした。

この宿場町に、名水を生かして丹念に作ると評判の豆腐屋あり。

「じいちゃんの代からの店です」

控え目ながらも誇らしげに胸張って言うのは

兄大輔さん、ひとつちがいの弟拓郎さんの、木村兄弟だ。

二代目である父は寡黙なひとだ。

厳しくきついことも言われるが、

「しやうがないです。豆腐のプロですから」

早起きの父を尊敬する。

陸上選手だった父の感化で兄弟ともにランナーだ。

三男坊がいま料理の修業中。

かれが帰ってきたら、宿場町の木村三兄弟の豆腐専門店を。

それは父の夢でもあります。

木村とうふ店 木村大輔・拓郎

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。